



白虎隊の剣舞を披露する子どもたち

町民や観光客でにぎわう

中ノ沢・沼尻・横向温泉祭り

中ノ沢、沼尻、横向の3温泉の「温泉祭り」は7月21日、中ノ沢温泉などで行われ、多くの来場者でにぎわいました。戊辰戦争の犠牲者の霊を慰める母成慰霊祭では、中の沢保育所の子どもたちが母成峠古戦場碑の前で白虎隊の剣舞を披露し、花束をささげました。また、吾妻小児童による鼓笛パレードやイワナのつかみどりが行われたほか、「若旦那居酒屋」の出店や温泉踊り、温泉花火大会などが行われました。

緑小児童が天神太鼓を奉納

小平瀧天満宮で例大祭

学問の神様、菅原道真をまつる小平瀧天満宮の例大祭は7月24、25の両日、同天満宮で行われました。参道には出店などが立ち並び、学業成就などを祈願する多くの参拝者でにぎわいました。

例大祭初日には、緑小学校の4、5年生約20人が天神太鼓を奉納。力強く天神太鼓を奉納する児童の姿に、参拝者からは盛んな拍手が送られました。



天神太鼓を奉納する児童

健康寿命を延ばそう

地域支え合いづくり講演会を開催

町社会福祉協議会では7月23日、町農村環境改善センターで地域の人たちが支え合い、生き生きとした生活を送るための講演会を開きました。「ご近所福祉クリエイター」として全国で活躍する酒井保さんが「活き！生き！元気！健康寿命を延ばす3つのポイント」と題して講演。酒井さんは、軽妙な語り口で会場を和ませながら健康寿命を延ばすポイントについて分かりやすく紹介しました。



健康寿命を延ばすポイントを紹介する酒井さん

湖水浴シーズンの安全を祈る

猪苗代湖五浜合同浜開き

猪苗代湖水難事故防止祈願祭並びに五浜合同浜開きは7月13日、上戸浜で行われました。上戸浜観光組合の主催。浜開きは毎年、上戸浜、長浜、志田浜、天神浜、松橋浜の合同で行っています。祈願祭では神事が執り行われ、関係者らが玉串をささげて湖水浴シーズン中の安全と無事故を祈願しました。前後公町長が「各浜や関係機関と連携を図り、水難事故防止に努めていきたい」とあいさつを述べました。



安全を祈り、玉串をささげる前後町長



ポンプ車操法の部で優勝した第5分団の操法



小型ポンプ操法の部優勝の第4分団の操法

第5分団、第4分団が優勝

町消防操法大会

町消防操法大会は7月1日、町水防センター西側駐車場で開かれました。大会には町内の消防団員が分団ごとにチームを編成して出場し、規律や消防ポンプ操作の正確性、動作のスピードなどを競い合いました。

主な成績は下記のとおりです(敬称略、丸数字は分団)。

【ポンプ車操法の部】

優勝=第5分団 準優勝=第2分団 3位=第6分団
最優秀選手 指揮者=西川佳男①、二瓶尚之②、大川原純一③、五十嵐史朗⑤、阿部正史⑥ 1番員=野口直樹②、土屋勝彦④、遠藤成一⑤、佐藤翔太⑥ 2番員=野口裕貴② 3番員=小坂橋幸宏①、阿部友輝③ 4番員=須田忠洋④、榊原靖之⑤

【小型ポンプ操法の部】

優勝=第4分団 準優勝=第3分団 3位=第2分団
最優秀選手 指揮者=浅川太志② 1番員=大竹直樹②、大束拓也③、獅戸昂太④ 2番員=村澤賢也④、遠藤辰朗⑤ 3番員=佐藤孝行④

甲子高原を楽しくハイキング

第66回町民ハイキング

第66回町民ハイキングは7月1日、甲子高原(西郷村)の「西の郷遊歩道」を歩く約2.5kmのコースで行われ、約60人が参加しました。

参加者は、遊歩道を約3時間ほどかけて歩き、甲子高原の自然や雪割橋から見る溪谷の風景などを楽しみました。渡部一正さん、文子さんご夫妻は「歩きやすい距離で、自然を満喫しました。来年も参加したいです」と話しました。



森林の中を歩く参加者

県大会出場を報告

猪苗代中野球部・吹奏楽部が県大会に出場

猪苗代中学校の野球部と吹奏楽部は7月17日、町役場を訪れ、宇南山忠明教育長に県大会への出場を報告しました。野球部は6月12、13の両日に会津若松市で開かれた中学校体育大会総合大会の全会津大会で準優勝。吹奏楽部は7月7、8の両日に喜多方市で開かれた県吹奏楽コンクール会津支部大会・小編成の部で金賞を獲得し、それぞれ県大会出場を決めました。宇南山教育長は「感謝の気持ちを忘れずに頑張ってください」と激励しました。



左から吹奏楽部の山内教諭、相原副部長、後藤部長、宇南山教育長、野球部の山本部長、遠藤副部長、上妻教諭



準優勝に輝いた長瀬小の選手ら

長瀬小が団体準優勝

交通安全子供自転車県大会

第52回交通安全子供自転車県大会は7月7日、本宮運動公園総合体育館で行われ、県内11の小学校が参加しました。本町からは長瀬小と猪苗代小の2校が出場しました。

競技は四人一組でチームを編成し、交通規則などに関する学科テストと自転車でコースを走る実技テストの総得点で争われ、選手たちが日ごろの練習の成果を披露しました。団体では、石川町の石川小が優勝。長瀬小が準優勝に輝きました。

学びいなで夏祭り

学びいな夏祭り2018

「学びいな夏祭り2018」は7月15、16の両日、学びいなで開かれました。会場内には学びいなが主催する各種講座の作品が展示されたほか、町体験交流協会に加盟する団体による作品展示やまが玉作り体験、起き上がり小法師の絵付け体験、ミニS Lの運行など、さまざまな体験が行われました。屋外ステージでは、オカリナコンサートやギターの弾き語りなどが繰り広げられました。



子どもたちの人気を集めたミニS Lの運行



一生懸命にごみを拾い集める園児ら

いまち9クリーン大作戦

ミニテル保育園の園児が清掃活動

ミニテル保育園の2～3歳児の園児6人は7月19日、中央通商店街の清掃活動を行いました。園児たちは、歩道に落ちたごみを一生懸命に拾い集めました。同園では、「いまち9クリーン大作戦」と題し、毎月19日に町内の商店街や観音寺川周辺、JR猪苗代駅などで清掃活動を実施しています。同園の佐藤亜紀園長は「毎月、町探検をしながら楽しくごみ拾いをしています。子どもたちに奉仕の心を養いたいです」と話しました。

犯罪のない明るい社会を

「社会を明るくする運動」強化月間

「社会を明るくする運動」強化月間の7月、町内では猪苗代地区の保護司会や更生保護女性会などの関係団体により、犯罪のない明るい社会を築くための活動が繰り広げられました。7月2日早朝にはJR猪苗代駅前啓発活動を行い、参加した約40人がチラシなどの啓発グッズを配り、非行防止などを呼びかけました。23日には町内広報活動として広報車で呼びかけを行ったほか、事業所などへ訪問し、明るい社会づくりへの協力を求めました。



7月23日の広報活動出発式の様子



1_小学生の部最優秀賞の江口楽さんは「僕の一番の故郷猪苗代町」と題して発表。来年から猪苗代町を離れる予定の江口さんが町への恩返しの思いを発表した 2_高校生の部で最優秀賞を受賞した笠間優希さん。子どもたちの未来を守るために必要なことは何か。笠間さんが考える対処法を発表した 3_発表者と審査員の皆さん



未来担う青少年の主張

青少年の主張猪苗代町大会

青少年メッセージ2018第31回青少年の主張猪苗代町大会は7月14日、学びいなで開かれました。大会には町内の小・中・高校から12人が参加し、「夢や希望、まちづくりに関すること」などをテーマに自由な発想で発表しました。審査の結果、猪苗代小の江口楽さん、東中の本多悠さん(=特別賞)、猪苗代高校の笠間優希さんが最優秀賞を受賞しました。



前後町長から賀寿を受ける川井さん(右)

川井源治さんが100歳に

長寿を祝い、賀寿などを贈呈

7月3日に100歳の誕生日を迎えた川井源治さん(五十軒)への賀寿贈呈式は同日、川井さんの自宅で行われ、家族らが長寿を祝いました。会津保健福祉事務所の本田邦之健康福祉部長、前後公町長が賀寿や記念品などを贈りました。川井さんは水彩画を趣味としてこれまでに数々の個展を開催。猪苗代地方史研究会では50年にわたり活動してきました。長男の源宏さんは「好きなことを続けて長生きしてほしいです」と謝辞を述べました。

磐梯山噴火犠牲者を追悼

磐梯山噴火殉難者供養祭

明治21年の磐梯山噴火犠牲者を追悼する磐梯山噴火殉難者供養祭は7月15日、西勝寺で執り行われました。

式では、磐梯まつり実行委員長の渡部常男町商工会長が式辞を述べ、読経、焼香に続いて前後公町長、長沼一夫町議会議長が供養の辞を述べました。遺族代表の山田英作さんが「自然災害の脅威を忘れず、常に防災意識を持ちながら、豊かな実りを与える磐梯山への感謝を後世に引き継ぎます」と謝辞を述べました。



磐梯山噴火による犠牲者の冥福を祈る参列者ら